


## 平成28年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 近成昌行	<p><b>●使命</b> 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の五つの重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、諸施策を実施します。</p> <p><b>●基本方針</b> 重点1「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 重点2「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 重点3「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 重点4「健康で活力に満ちた地域社会の形成」 重点5「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」 以上、五つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			68人	161人	229人
		一般会計	1,881,220 千円		
		特別会計	千円		
		計	1,881,220 千円		
	(うち人件費)	(522,930 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>魅力ある学校施設と学習環境の改善を図ります。また、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化と、学校施設の機能及び性能を確保することを目的とした学校施設長寿命化計画を策定します。</p> <p>② 学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p>	<p>① 平成28年度内に、学校施設長寿命化計画を策定します。</p> <p>② 邑久中学校南棟大規模改造工事や各小学校の焼却炉解体撤去工事など、学校施設整備を年度内に計画的に実施します。</p>	<p>①7月に第1回目の検討委員会を開催し、計画の目的や必要性について情報共有を図りました。また、各学校施設の劣化状況を把握するため、現地調査を実施しました。</p> <p>②邑久中学校南棟大規模改造工事は仮設校舎が完成し、本体工事も順調に進んでいます。その他、邑久中学校プール解体撤去工事と焼却炉解体撤去工事は完了しました。</p>	<p>①検討委員会を3回開催し、最終案を作成しました。パブリックコメントの後、年度内に完成予定です。</p> <p>②邑久中学校南棟大規模改造工事は、騒音による授業への影響を配慮しながら施工しているため、進捗率は約80%ですが、工期内に完了する予定です。</p>	<p>①検討委員会を3回開催し、年度内に完成しました。</p> <p>②邑久中学校南棟大規模改造工事は、工期内に完了しました。また、計画していた各小学校の焼却炉解体撤去工事などの学校施設整備は、年度内に完了しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 幼少期の教育の重要性に鑑み、関係部局・関係機関と連携しながら、支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じ、多様できめ細やかな支援を行います。	<p>①保幼小の連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉課と連携し、共通支援シートを活用によって、幼稚園、保育園の児童を小学校へスムーズにつなげるようにします。</li> <li>県が作成した、保幼小接続スタンダードをもとに保幼小の接続のためのカリキュラムについて平成30年度末完成を目標に作成に取りかかります。</li> </ul> <p>②支援の充実</p> <p>様々な支援の必要な子どもたちのニーズに対応するため、研修の場を増やし、「取り出し指導」等の実践を行います。</p> <p>③外国語教育推進事業</p> <p>積極的にコミュニケーションを行おうとする態度や英語の言語能力を育成します。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「小1プロブレム」の発生を押さえ、問題行動や不登校の出現率を小学校で0.4人にします。</li> <li>保幼小の接続のためのカリキュラムの作成のための協議会を3回以上行い、授業参観等を積極的に行える基盤を作ります。</li> </ul> <p>②支援員のための研修、特別支援を視点においた授業づくりの研修等を年間3回以上行い、学習機会を増やすことにより、支援体制の充実を図ります。</p> <p>③外国に興味を持ったり、英語を使いたいと思う児童・生徒の割合を8割以上にします。</p>	<p>①保幼小の連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度、「小1プロブレム」の報告は受けていません。不登校の報告は、現在4名で、昨年度よりも増加の傾向にあります。11月と1月に、不登校についての研修を行い不登校支援についての意識を高めます。</li> <li>8月5日に校長・教頭研修でカリキュラム作成のための研修会を行いました。協議会に先駆け、幼小で協議会を開いたブロックもあります。</li> </ul> <p>②5月に特別支援コーディネーターを中心とした研修会と夏休みに研修を行いました。次回は、11月と1月に研修を予定しています。</p> <p>③外国に興味関心を持って学習している児童生徒は、87%となっています。さらに、興味関心・意欲の向上に努めます。</p>	<p>① 保幼小の連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12月現在で6名の不登校がおり昨年度と同程度となっている。11月と1月に、不登校の研修を行った。不登校の様々なケースについての研修を深めた。</li> <li>3回以上の協議会の開催には至っていないが、幼稚園係を中心に、保幼でのカリキュラムを3月中に作成する予定である。</li> </ul> <p>② 11月に特別支援室での授業公開を行った。参加者は少なかったが、専門の指導主事より指導助言をいただいた。1月の研修はできなかったが、学習機会を増やす工夫をしたい。</p> <p>③ 幼稚園では、体を使い、リズムをとりながら外国語に触れている姿が見られ幼少期からの外国語活動に成果を感じている。</p>	<p>① 保幼小の連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3月末での長期欠席児童・生徒は、小学校で前年比の12.5% (0.5人)、中学校で7.5% (2.36人) となっており、中学校では、前年度より改善傾向が見られ、目標を達成することができました。</li> <li>協議会は1回しか実施できませんでした。保幼でのカリキュラムはおおむね作成できました。</li> </ul> <p>②特別支援教室で1年間を通し、継続的に取り出し指導を行うことで、落ち着いた学習ができるようになっていきます。</p> <p>③幼稚園、小学校とも子どもたちのほとんどが外国語に興味関心を持ち学習することができました。子どもたちの前向きな活動の様子が感じられました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3 生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設が連携して事業を推進します。	<p>①図書館サービスの展開 「新瀬戸内市図書館整備実施計画」に基づき、新図書館を拠点とした図書全域サービスをより充実させます。</p> <p>②長船図書館（6月1日設置予定）については、市全体の公共施設の再編計画や当該施設の耐震補強への対応などを考慮しつつ、一定の施設改善を28年度内に行います。</p> <p>③新図書館生涯学習拠点化事業 図書館資料だけでなく、放送大学受信環境や高齢者向けのDVD等の整備により、生涯にわたる学習を多面的に支援します。</p> <p>④公民館は、市民図書館との文化財・郷土資料の展示事業や芸術文化面での連携事業及び美術館との森陶岳特別展などで連携し、市民に対して新たな取組みを発信します。また、児童へのICT国際交流事業に取り組むことで、各学校との連携を持ちながら、英語教育事業を実施します。</p>	<p>①開館初年度の貸出冊数を全域サービスの数値目標として全館の登録率を36.8%、貸出冊数を約325,000冊、住民1人当たり貸出冊数を8.6冊、新図書館の来館者数を約130,000人とします。会議室等の稼働率を上げるべく、読書会、映画会、情報探索講座等の事業企画を月3回実施します。</p> <p>②長船図書館の書架間隔を広げ低書架にする等、施設の改善を28年度内に完了させます。</p> <p>③邑久高校への事業紹介を年3回、市内高齢者施設へのDVD貸出PRを月1回実施します。</p> <p>④埋蔵文化財や郷土資料のロビー展示や、音楽コンサートなどのロビーコンサートの実施を企画します。芸術文化事業及び喜之助フェスなどを各社会教育施設等との連携事業で進めます。さらに菊花展など既存事業のさらなる充実を図り、市内3館および分館の利用人数を年間約175,000人とします。</p>	<p>①9月末の利用登録者数は、15,017人で、対人口比39.5%となり、既に目標を上回る数値となっています。貸出冊数は、132,945冊でした。また、新図書館の来館者は、70,002人で一日平均707人となっています。</p> <p>②長船図書館の設計委託を完了し、工事請負入札の準備が整いました。また、資料の移管等も行いました。</p> <p>③邑久高校の運営会議に参加し、学校の要望聞き取りと図書館PRを行ないました。</p> <p>④各社会教育施設と公民館との連携事業や文化事業を予定通り実施しています。喜之助フェスでは夏ボラの活躍もあり盛況に行われました。菊花展も国からの表彰も受賞が決定し、着々と準備を進めている状況です。</p>	<p>①1月末の利用登録者数は、15,357で、対人口比40.4%となり、既に目標を上回る数値となっています。貸出冊数は、224,370冊でした。また、新図書館の来館者は、117,963人で一日平均614人となっています。</p> <p>②長船図書館の改修工事を完了し、書架の入れ替えを完了させました。配架作業を進めています。</p> <p>③邑久高校図書委員会に協力頂き図書館イベントを実施するプロセスで邑久高校生の図書館理解を図りました。</p> <p>④各3館での文化祭は2,700人増加、菊花展は2,500人増加の参加となりました。3小学校との連携を持ちながら、ICT国際交流事業に取り組む英語教育事業を実施しました。毎月のロビーコンサートで利用者が増加しています。</p>	<p>①3月末の利用登録者数は、15,599人で、対人口比41%となり、既に目標を上回る数値となっています。貸出冊数は、287,854冊でした。また、新図書館の来館者は、143,096人で一日平均600人となっています。</p> <p>②長船図書館の配架作業を完了させ、3月7日リニューアルオープンしました。</p> <p>③邑久高校図書委員会と引き続き連携事業の検討をしています。</p> <p>④年間を通じて各種ロビーへの展示を実施しました。ロビーでの音楽コンサートは12回実施し年間1,500人を超える参加者がありました。市内3館において連携事業などの新たな取組みにより利用者は、年間約190,000人となりました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	現計画が平成28年度で終了することから、「スポーツを通じて健やかに暮らせるまち」の実現のため、平成29年度から10年間を計画期間とした、次期スポーツ推進計画を策定します。	スポーツ推進計画は、第2次瀬戸内市総合計画の個別計画として位置づけられ、その内容は、「スポーツ活動の場所と機会の提供」「多様なスポーツ活動の支援」「スポーツ団体の支援」「スポーツ指導者・ボランティアの育成」「トップレベルで活躍する選手等の支援」の5項目を基本施策とし、さらに各項目を細分化し、目標の実現を目指します。	① 住民アンケートの実施 市内2,000件を無作為抽出し、アンケートを実施するとともに市内各小中学校でも実施し、その結果を計画に反映させます。 ② 計画案の作成 12月を目途に計画案を作成し、スポーツ推進審議会において検討を行います。 ③ 計画の策定 平成28年3月を目途に計画を策定します。	① 住民アンケートの実施 市内2,000件及び市内小中学校児童生徒アンケートは7月中に終了。 回収率 市民アンケート:44.8% 中学生 :95.1% 小学生 :96.7% ② 計画案の作成 アンケートの実施による考察等を加筆し、9月末に完成。 ③ 計画の策定 10月に審議会を開催し、意見をいただきます。以降策定に向けて作業を実施。	① 住民アンケート等の実施により、市民のスポーツに関する実態が把握できたため、結果に考察を加え計画案に反映させました。 ② 2月1日開催のスポーツ推進審議会において、計画案を完成させ、答申内容を決定する予定です。 ③ 2月開催の教育委員会議にて諮問に係る答申予定です。会議の内容を受け、3月中に計画を策定する予定です。	① 住民アンケートの結果から市民のスポーツ活動等の実態を把握し、計画に反映させました。 ② 教育委員会の諮問に対し、スポーツ推進審議会から教育委員会に計画案として答申されました。 ③ 2月開催の教育委員会議において、スポーツ推進審議会からの答申を受け、計画の策定について決定され、3月に計画が製本されました。
5	古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存、そして公開し、市民の郷土文化への関心が高まるように努めます。	① 国庫補助事業を活用し、経年劣化している国指定重要文化財「大賀島寺木造千手観音立像」の保存修理を行うとともに、安置している本堂に防火施設整備工事を実施し、貴重な文化財を次代に継承します。 ② 美術館では岡山県重要無形文化財保持者の森陶岳の足跡を網羅した特別展「森陶岳の全貌展」や博物館では特別展「お守り刀展覧会」などを通じて歴史を学び、すぐれた伝統技術の継承と向上を図ります。	① 木造千手観音立像保存修理、本堂防火施設整備工事を3月末までに完了します。 ② 目標入館者数 美術館：21,000人 博物館：46,000人	① 木造千手観音立像保存修理は6月1日美術院国宝修理所へ搬出し修理中。本堂防火施設整備工事は8月に実施設計を終え、9月13日に工事入札で施工業者が決定しました。 ② 9月末入館者数 美術館：9,190人 博物館：31,564人	① 木造千手観音立像保存修理は、3月下旬の搬入に向け順調に進行中です。本堂防火施設整備工事は、1月20日に現地を確認、防火水槽及びポンプ庫壁面のコンクリート打ちが終了し3月中頃完了予定です。 ② 1月末入館者数 美術館：12,699人 博物館：43,652人	① 木造千手観音立像保存修理は、保存修理を終え3月23日に寺へ搬入し本堂に安置しました。本堂防火施設整備工事は、3月14日に完成。15日に監理検査を受け完了しました。 ② 3月末入館者数 美術館：17,524人 博物館：50,432人